

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	北海道財務局長
【提出日】	平成25年8月13日
【会社名】	株式会社ダイイチ
【英訳名】	DAIICHI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 鈴木 達雄
【本店の所在の場所】	北海道帯広市西20条南1丁目14番地47
【電話番号】	0155(38)3456(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役企画IR兼経理担当 川瀬 豊秋
【最寄りの連絡場所】	北海道帯広市西20条南1丁目14番地47
【電話番号】	0155(38)3456(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役企画IR兼経理担当 川瀬 豊秋
【届出の対象とした募集有価証券の種類】	株式
【届出の対象とした募集金額】	その他の者に対する割当 1,597,596,000円
【安定操作に関する事項】	該当事項はありません。
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 証券会員制法人札幌証券取引所 (札幌市中央区南一条西五丁目14番地の1)

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

当社は、平成25年8月13日付で第59期第3四半期に係る四半期報告書を北海道財務局長に提出したことに伴い、平成25年7月23日付で提出した有価証券届出書及び平成25年8月5日付で提出した有価証券届出書の訂正届出書について、当該四半期報告書を組込情報に追加し、必要な修正をするため、有価証券届出書の訂正届出書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第三部 追完情報

- 1 事業等のリスクについて
- 2 臨時報告書の提出
- 3 最近の業績の概要

第四部 組込情報

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____ 罫で示しております。

第三部【追完情報】

（訂正前）

1 事業等のリスクについて

後記「第四部 組込情報」の有価証券報告書（第58期）及び四半期報告書（第59期第2四半期）（以下「有価証券報告書等」といいます。）に記載された「事業等のリスク」について、当該有価証券報告書等の提出日以後、本有価証券届出書提出日（平成25年7月23日）までの間において、当該有価証券報告書等に記載された「事業等のリスク」について追加がありました。以下の内容は、有価証券報告書等に記載された「事業等のリスク」の追加箇所を記載したものです。

なお、当該有価証券報告書等には、将来に関する事項が含まれますが、当該事項は、以下の「事業等のリスク」に記載した事項を除き、本有価証券届出書提出日（平成25年7月23日）現在においてもその判断に変更はなく、また新たに記載する将来に関する事項もありません。

事業等のリスク

(1)～(8)略

(9)株式の希薄化について

本第三者割当により新規発行する株式1,716,000株は、平成25年3月31日現在当社の発行済株式総数4,003,320株の42.86%（新株式発行後の発行済株式総数の30.00%）にあたり、当該新規発行株式が発行された場合、1株当たりの株式価値の希薄化が生じる可能性があり、この結果当社株価にも影響を及ぼす可能性があります。

(10)本提携について

本提携は、当社の財務体質を強固なものにし、且つ、商品の共同調達による原価低減、商品の共同開発による集客力の一層の向上、物流・インフラの相互活用、資材の共同調達によるコストの削減、相互の人材交流を通じた接客サービスの更なる向上、店舗運営のノウハウ共有等の施策を行うことにより、スーパーマーケット事業を大きく成長させ、もって、当社の企業価値を向上させることが期待されます。しかしながら、本提携に沿った提携が具体的に実行されるとの保証はなく、またかかる提携が実行された場合でも、万一、当社の期待する経済的効果が得られない場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

2 臨時報告書の提出

後記「第四部 組込情報」に記載の有価証券報告書（第58期）の提出日（平成24年12月25日）以後、本有価証券届出書提出日（平成25年7月23日）までの間において、以下の臨時報告書を北海道財務局長に提出しております。

<後略>

3 最近の業績の概要

平成25年8月5日に公表した第59期第3四半期連結累計期間（自平成24年10月1日至平成25年6月30日）に係る四半期連結財務諸表は以下のとおりであります。

なお、この四半期連結財務諸表は、注記の一部を省略する等しているため、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成したものではありません。また、この四半期連結財務諸表は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査法人の四半期レビューを終了しておりませんので、四半期レビュー報告書は受領しておりません。

<後略>

（訂正後）

1 事業等のリスクについて

後記「第四部 組込情報」の有価証券報告書（第58期）及び四半期報告書（第59期第3四半期）（以下「有価証券報告書等」といいます。）に記載された「事業等のリスク」について、当該有価証券報告書等の提出日以後、本有価証券届出書の訂正届出書提出日（平成25年8月13日）までの間に生じた変更その他の事由はありません。

なお、当該有価証券報告書等には、将来に関する事項が含まれますが、本有価証券届出書の訂正届出書提出日（平成25年8月13日）現在においてもその判断に変更はなく、また新たに記載する将来に関する事項もありません。

2 臨時報告書の提出

後記「第四部 組込情報」に記載の有価証券報告書（第58期）の提出日（平成24年12月25日）以後、本有価証券届出書の訂正届出書提出日（平成25年8月13日）までの間において、以下の臨時報告書を北海道財務局長に提出しております。

< 後略 >

3 最近の業績の概要の全文削除

第四部【組込情報】

（訂正前）

次に掲げる書類の写しを組み込んでおります。

有価証券報告書	事業年度 (第58期)	自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日	平成24年12月25日 北海道財務局長に提出
四半期報告書	事業年度 (第59期第2四半期)	自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日	平成25年5月14日 北海道財務局長に提出

< 後略 >

（訂正後）

次に掲げる書類の写しを組み込んでおります。

有価証券報告書	事業年度 (第58期)	自 平成23年10月1日 至 平成24年9月30日	平成24年12月25日 北海道財務局長に提出
四半期報告書	事業年度 (第59期第3四半期)	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	平成25年8月13日 北海道財務局長に提出

< 後略 >

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月9日

株式会社ダイイチ
取締役会 御中

監査法人シドー

指定社員
業務執行社員 公認会計士 政近 克幸 印指定社員
業務執行社員 公認会計士 五百蔵 豊 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ダイイチの平成24年10月1日から平成25年9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年10月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ダイイチ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成25年7月23日開催の取締役会において、株式会社イトーヨーカ堂との間の業務・資本提携契約の締結及び同社に対する第三者割当による新株式の発行を決議している。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。